

令和2年度

社会福祉法人南陽会
事業報告書

社会福祉法人南陽会

令和2年度

事業報告書目次

【目次】

法人運営報告	P1～7
1 法人運営の概要	P1
2 理事会・評議員会・監事監査の開催	P2～3
3 研修関係	P3～4
4 補助金関係	P4
5 寄付	P4
6 登記事項・定款変更	P4
7 人事管理	P5
8 福利厚生	P5
9 財務管理	P5
10 主な施設・設備等の整備	P5
11 法人全体の共通の取り組み	P5～7
各事業所 事業報告	P8～33
1 障がい者支援施設あかまつ荘	P8～13
2 下郷作業所ホイップ	P14～17
3 すみれ荘	P18～22
4 只見地域活動支援センターじねえんと	P23～25
5 みなみあいづ障がい者相談センター	P26～29
6 こまどり荘	P30～33

《社会福祉法人南陽会 法人運営報告》

1、法人運営の概要

令和2年度は、年度当初より新型コロナウイルス感染症の影響もあった中で、南陽会の運営理念及び運営方針に従い、且つ南陽会の年度事業計画に基づき、福祉情勢の変化に即応した主体的で安定した運営を目指し実施した。施設体系及び管理体制づくり、サービス事業の拡充、財務確保・経営事務の精度向上を行い、利用者へより充実したサービス提供を行うために努力を行った。また、理事会、評議員会では書面評決という選択肢もあった中で、委員の方全員の体調等の状況を確認しながら三密を避けられる用の体制を整えながら、南陽会の定款に基づいて会議を実施し法人運営に努めてきた。

利用者サービス事業については、障がい者支援施設あかまつ荘では「施設から地域へ」を前年同様に主眼に置いて地域生活移行にも努力し、次年度に向けた働きかけのもと「グループホーム」へ体験利用等を通して実施することを行った。ただし、新型コロナウイルス感染症の関係でショートステイ及び体験利用においてのサービスについては制限を設けざるを得ない状況となっていた。下郷作業所ホイップに関しては、昨年同様に就労事業所の役割で活動してきた中で、支援学校卒業生の受入に関しても新型コロナウイルス感染症における対応を見極めつつ、万全の対策に基づいて実施しました。利用受け入れに関しても2名の支援学校卒業生を受け入れました。それと同時に一般就労を目指すことも同時に行い、昨年を引き続き1名の方を一般就労へ繋ぐことが出来た。

事業運営に関しては、入所施設1、通所事業所1、グループホーム6、相談事業所1、市町村委託事業（只見町）通所事業1を昨年同様に行ったが、グループホームさくら荘に関しては、年度途中において利用者の生活状況等を検討した結果、身辺自立が年齢とともに低下してきており、入所施設へのサービス変更を行い、さくら荘の利用者がゼロとなったことから休所とした。

各事業所の詳細で報告すると、障がい者支援施設あかまつ荘においては、「施設から地域へ」を主眼に置いて地域生活移行にも努力し、3名の方の地域移行をすることが出来たことと、今後も本人の意思を尊重しつつ地域生活移行を促進した。それに伴い3名の入所受け入れを実施した。

グループホームに関しては男性の利用希望者が多く、定員が満床となっていることから受け入れが難しい状況になっている。また、さくら荘の利用者がいなくなったため6ホームから5ホームへと変更を行った。（さくら荘においては休所とした。）

下郷作業所ホイップに於いては、就労継続支援B型事業と就労移行支援事業と二つの事業を行い、多機能型として事業展開をしている中で、令和2年度も一般就労をめざし企業開拓と実習を行った結果、1名の方を一般就労させる事が出来た。今後も企業開拓を行い、一般就労に結び付くように努力していきたい。また今後に向けては、障がいの重い方の利用も視野に入れて、通所の生活介護事業所等の事業展開を検討して行きたい。

只見町地域活動支援センターについては、契約者は定員を超えているが、日常的に利用されている方が一日10名程度に増加しつつあります。令和2年度は只見町のプロポーザル実施後初年度でもあり、事業の見直しを図る機会ではないかとの事で、令和3年度に向けて日課及び作業等の見直しを図るべく検討を行い次年度に向けて実施していきたい。

こまどり荘に関しては、あかまつ荘より利用者3名が地域移行を行った。この事によりこまどり荘の定員は7名となり満床となった。新規移行を行った利用者においては生活の変化に伴い支援をする部分が多くなった方もおりますが、概ねグループホームの生活は満足している様子である。

経理部門では昨年同様、南会津町の宍戸会計事務所と契約を行い、月に一度の経理及び財務状況の把握に努め経理及び庶務の効率化を図った。

2、理事会・評議員会・監事監査の開催

理事会回数	開催日	出席者人数	議題
第1回理事会	令和2年6月9日	理事5名 監事2名	一般相談支援事業みなみあいづ障がい者相談センター運営規程の一部改正について 特定・障害児相談支援事業みなみあいづ障がい者相談センター運営規程の一部改正について 社会福祉法人南陽会評議員候補者の推薦について 令和元年度社会福祉法人南陽会事業報告について 令和元年度社会福祉法人南陽会一般会計収支決算報告について 令和2年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第1号)について 令和2年度社会福祉法人南陽会第1回評議員会の開催について
第2回理事会	令和2年9月29日	理事5名 監事1名	社会福祉法人南陽会すみれ荘運営規程の一部改正について 社会福祉法人南陽会さくら荘の休止について 社会福祉法人南陽会就業規則の一部改正について 社会福祉法人南陽会貸金支弁職員の雇用等に関する規程の一部改正について 障害福祉サービス施設・事業所等に勤務する職員に対する慰労金支給について (令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金(障害分)) 社会福祉法人南陽会あかまつ荘の電力会社変更について 令和2年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(案)(第2号)について 令和2年度社会福祉法人南陽会第2回評議員会の開催について
第3回理事会	令和2年年12月24日	理事6名 監事2名	社会福祉法人南陽会定款の一部改正について 社会福祉法人南陽会一般相談支援事業障がい者相談支援センター運営規程の一部改正について 社会福祉法人南陽会特定・障害児相談支援事業障がい者相談支援センター運営規程の一部改正について 社会福祉法人南陽会就業規則の一部改正について 令和2年度社会福祉法人南陽会第3回評議員会の開催について
第4回理事会	令和3年3月23日	理事6名 監事2名	令和2年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第3号)について 社会福祉法人南陽会障がい者支援施設あかまつ荘運営規程の一部改正について 社会福祉法人南陽会障がい者支援施設あかまつ荘短期入所事業運営規程の一部改正について 令和3年度社会福祉法人南陽会事業計画(案)について 令和3年度社会福祉法人南陽会一般会計収支予算(案)について 令和2年度社会福祉法人南陽会第4回評議員会の開催について
評議員会回数	開催日	出席者人数	議題
第1回評議員会	令和2年6月24日	評議員5名 監事1名 欠席者2名	令和元年度社会福祉法人南陽会事業報告について 令和元年度社会福祉法人南陽会一般会計収支決算報告について 令和2年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第1号)について
第2回評議員会	令和2年10月9日	評議員5名 欠席者2名	令和2年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(案)(第2号)について
第3回評議員会	令和2年12月25日	評議員5名 欠席者2名	社会福祉法人南陽会定款の一部改正について 社会福祉法人南陽会一般相談支援事業障がい者相談支援センター運営規程の一部改正について 社会福祉法人南陽会特定・障害児相談支援事業障がい者相談支援センター運営規程の一部改正について
第4回評議員会	令和3年3月23日	評議員5名 欠席者2名	令和2年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第3号)について 令和3年度社会福祉法人南陽会事業計画(案)について 令和3年度社会福祉法人南陽会一般会計収支予算(案)について

法人監査	開催日	出席者人数	議題
第1回法人監査	令和2年6月2日	監事2名	法人監査
評議員選任解任委員会	開催日	出席者人数	内容
評議員選任会議	令和2年6月16日	委員3名	評議員の退任に伴う選任

3、研修関係

開催月	研修内容	出席者
4月	福島県知的障害施設協会及び県サポート協会理事会	施設長
	福島県知的障害施設協会総会	
	会津若松社会保険委員会南会津支部定例会（書面開催）	渡部事務主事
	下郷町四法人会議	施設長、ホイップ管理者
5月	南会津精神保健福祉協会総会	施設長
	県社協障がい児者連絡協議会総会（書面開催）	
	県サポート協会代議員総会	ホイップ管理者
	下郷町社協理事会	
全国知的障害児者生活サポート協会社員総会（書面開催）	施設長	
	下郷町四法人会議	施設長、ホイップ管理者
6月	南会津地区安全運転管理者協会定期総会	施設長
	福島県知的障害者福祉協会臨時総会	
	南会津町社協評議員会	施設長、ホイップ管理者
	下郷町四法人会議	
7月	福島県知的障害者福祉協会事務局会議	施設長
8月	福島県知的障害者福祉協会事務局会議 昭和電工表彰式	施設長
9月	福島県知的障害者施設協会事務局会議	施設長
	安全運転管理者講習会	ホイップ管理者
	下郷町社協理事会	
	下郷町四法人会議	施設長、ホイップ管理者
10月	ペアレントプログラム事業（県委託事業）計6回実施	施設長、相談管理者・職員
	国勢調査（あかまつ荘入所者）	施設長
	社会福祉法人監事研修	渡部高幸監事
	福島県知的障害者福祉協会正副会長会議	施設長
	福島県障がい者施策推進協議会	
11月	社会福祉法人理事研修	理事長
	東北地区知的障害者福祉協会理事会（web会議）	施設長
	南会津地方地域自立支援協議会人材育成部会	
	下郷町社協理事会	ホイップ管理者
12月	福島県知的障害施設協会理事会	施設長
	下郷町4法人連絡会議	施設長、ホイップ管理者
	ペアレントプログラム事業終了式	施設長、相談管理者・職員
	社会福祉法人評議員研修	室井宏親評議員、湯田嘉胡評議員

	南会津町社協評議員会	施設長
1月	南会津町新年会	理事長、施設長
	南会津地方地域自立支援協議会人材育成部会	施設長
2月	東北地区知的障害者福祉協会理事会（web会議）	施設長
	福島県知的障害者福祉協会事務局会議	
3月	福島県障がい者社会参加推進協議会	施設長
	福島県県知的障害者福祉協会正副会長会議	
	下郷町4法人連絡会議	施設長、ホイップ管理者
	下郷町介護保険事業運営協議会	施設長
	南会津町社協評議員会	
下郷町社協理事会	ホイップ管理者	
福島県授産事業振興会理事会	施設長	

4、補助金関係

補助事業名	内容	交付決定・補助金交付日	補助金額総額	工事・事業完了・納品日
赤い羽根共同募金	只見地域活動支援センターじねんとテレビ購入資金	令和2年4月1日	80,000円	令和2年5月27日
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（福島県）	障害福祉慰労金	令和2年4月1日	3,306,000円	令和2年11月30日
	感染症対策事業助成金		2,428,000円	
下郷町介護・福祉施設及び医療体制維持助成金	事業所の職員数に応じて新型コロナウイルス感染症の対策費用	令和3年3月3日	750,000円	ホイップ 300.000 すみれ荘 300.000 相談 150.000

5、寄付

項目	日時	内容
保護者 菅野顕光様より寄付金	令和2年5月7日	100,000円
前評議員 山田明様	令和2年12月21日	50,000円
昭和電工	令和2年8月27日	業務用掃除機1台 ハンディ掃除機1台、体温計
田島ロータリークラブ様よりクリスマスケーキ寄贈	令和2年12月25日	全利用者様分
空き缶の寄贈（あかまつ荘、ホイップに寄贈）	常時	アルミ缶リサイクル活動に使用

6、登記事項・定款変更

月日	項目	金額
令和2年3月31日	労働基準監督署へ時間外労働に関する協定書の届け出提出	
〃	労働基準監督署へ就業規則の変更届を提出	
令和2年6月24日	法務局へ資産変更登記提出（郵送、速達）	460,573,429
令和2年6月24日	監事監査報告書を県に提出	
令和2年6月29日	田島税務署へ公益法人の損益計算書を提出	
令和2年6月30日	現況報告書を県に提出	

7、人事管理

月 日	内 容 (退職者・新規者・異動・正規職員採用など)
① 退職者 6 名 (臨時 6 名)	5月退職 看護師 1 名 (パート、あかまつ荘) 8月退職 世話人 1 名 (パート、すみれ荘) 12月退職 作業指導員 1 名 (ホイップ) 2月退職 作業指導員 2 名 (内 1 名パート、あかまつ荘) 3月退職 作業指導員 1 名 (じねえんと)
② 新規者 5 名 (臨時 5 名)	4月採用 看護師 2 名 (パート) (あかまつ荘) 5月採用 作業指導員 (パート) (ホイップ) 作業指導員 (パート) (あかまつ荘洗濯業務) 10月採用 世話人 (パート)
③ 人事異動 (5 件)	あかまつ荘サービス管理責任者 → ホイップサービス管理責任者 ホイップサービス管理責任者 → 只見・管理者兼サービス管理責任者 只見・管理者兼サービス管理責任者 → あかまつ荘主任生活支援員 あかまつ荘生活支援員 → すみれ荘サービス管理責任者 じねえんと作業指導員 → あかまつ荘作業指導員
④ 業務変更 (2 件)	相談センター管理者兼すみれ荘サービス管理責任者 → 相談センター管理者専従 あかまつ荘副主任生活支援員 → あかまつ荘サービス管理責任者

8、福利厚生

項 目	内 容
健診・予防注射代負担	定期健康診断及びインフルエンザ予防注射代を負担した。
職員クラブへの助成	新型コロナウイルス感染症の影響によりクラブへの助成は行わなかった。
職免休暇、資格報奨金	資格取得推進ため研修日の職免休暇付与、資格取得報奨金を支給した。
職員処遇の配慮	職員用駐車場を借り上げた。業務災害総合保険に加入した。

9、財務管理

項 目	内 容
会計管理体制の整備 ・運用状況の点検	安定的に継続した活動が行えるように、宍戸会計事務所に財務会計に関する事務 (決算事務、帳簿) の定期的なサポートを委任した。

10、主な施設・設備等の整備

項 目	内 容
あかまつ荘	公用車 1 台廃車 (アルト)
只見地域活動センター	テレビ 1 台設置
ホイップ	公用車 1 台配備 (エルブランド)、1 台をすみれ荘に移す。(プレマシー)
すみれ荘	公用車 1 台を廃車し (ワゴンR)、1 台ホイップより移す。(プレマシー)

1 1、法人全体の共通の取り組み

(1) 人権擁護委員会

①活動内容

- ・「職員倫理綱領」、「職員行動規範」、「虐待防止マニュアル」の周知、定期的な聞取り、点検を実施
- ・虐待防止チェックリストの確認を職員会議の中で周知した。
- ・障がい者施設関係の権利擁護に関する取り組みについて協力をした。

②年間実施内容

開催月	内 容	備 考
毎月	各事業所にて人権擁護に関する内容を確認	全職員
6月	障がい施設協会人権倫理委員会	担当者研修に参加、伝達講習の実施
1月	福島県知的障害者福祉協会人権倫理委員会へのアンケート協力	担当者が協力

(2) 苦情解決委員会

①活動内容

- ・各事業所にて毎月のスタッフ会議にて苦情受付、内容検証、経過追跡、最終結果の確認を行い、適切な対応に努めた。

②年間実施内容

開催月	内 容	備 考
毎月	各事業所にて苦情解決に関する内容を報告、確認	全職員
11月	福祉サービスに関する苦情解決研修会	担当者研修に参加、伝達講習の実施

(3) 法人全体その他の委員会

名 称	業 務 内 容	実施時期
給食委員会	食事に関すること（給食委員）	毎月のスタッフ会議
保健委員会	保健衛生、感染症予防に関すること（保健委員）	毎月のスタッフ会議

(4) 法人全体・共通の会議・研修等

名 称	業 務 内 容	実施時期
＜法人会議・研修＞		
職員会議	法人全職員に関する会議（全職員）	9月、3月
あかまつ荘職員会議	あかまつ荘の職員会議（支援員、事務厨房、看護・栄養士）	毎月
法人全体研修	法人全職員での研修（全職員）	11月
代表者会議	法人事業の運営会（理事長、管理者、専門生活員、主任生活員）	毎月
＜事業所毎の会議・研修＞		
支援会議	利用者支援に関する会議（各事業所内の職員）	毎月
スタッフ会議	各事業所での行事予定、課題検討（各事業所内の職員）	毎月
伝達講習会議	各事業所での伝達講習（各事業所内の職員）	毎月
申し送り	各事業所での朝・夕の申し送り（各事業所内の職員）	毎日
＜利用者、保護者の会議＞		
自治会	利用者自らの主体的な企画・運営（利用者、担当職員）	毎月

保護者会	保護者の親睦・交流、事業所支援 ●4月6日：役員会 ●8月14日：花火大会 ●11月21日：奉仕活動●12月25日：クリスマス・忘年会	8回
------	---	----

(5) 公益的取組

下郷町の四か所の社会福祉法人(南陽会、下郷町社会福祉協議会、南会津会、明智福社会)合同で公益的取組を行った。(県社協発行の冊子「はあとふる3月号」にて活動内容を介された。)

- 1) 買い物支援サービス…高齢者のみの世帯及び障がい者世帯を対象に、下郷町内のスーパー等へ送迎を行った。

期間：令和2年6月14日～12月24日まで

法人名	延べ利用者	実利用者	送迎日数
下郷作業所ホイップ	103名	8名	14日間
(特養) 下郷ホーム	84名	8名	14日間
(特養) レジデンスふじの郷	76名	8名	14日間
下郷町社会福祉協議会	69名	8名	14日間
合計	332名	32名	56日間

- 2) サマーショートボランティア

当初は町内の4法人の事業所において、小学生、中学生、高校生を対象に介護ボランティア等の体験を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から中止とした。

令和2年度 障害者支援施設 あかまつ荘

1、事業概要

施設入所支援	施設に入所されている方々の夜間や休日において入浴、排泄、食事の介護等や余暇支援を提供した
生活介護	常に介護を必要とする方に入浴、排泄、食事の介護等を提供すると共に創作活動又は、生活活動の機会を提供した
短期入所	在宅生活者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする利用者に入浴排泄及び食事の介護その他の必要な支援を提供した

2、職員配置

事業所名	職 種	員 数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
障害者支援施設 あかまつ荘	管 理 者	1		1			
	サービスマニージャー	1	1				
	主任生活支援員	1	1				
	生活支援員	5	5				
	作業指導員	10	7		3		非常勤：8時間以内勤務
	事務	4	4				
	看護師	2			2		
	栄養士	1	1				
厨 房	6	6					
合 計		31	25	1	5		

(令和3年3月末現在)

3、利用者の状況 (令和3年3月末現在)

(1) 利用者数

事業名/性別	男性	女性	合計
施設入所支援	26人	17人	43人
生活介護	24人	11人	35人
短期入所	2人	2人	4人

(2) 障害状況

ア障害名 ※重複障害者を含む

事業名/種別	身体	知的	精神	その他	合計
施設入所支援	11人	39人	2人	0人	52人
生活介護	11人	35人	2人	0人	48人
短期入所	1人	3人	1人	0人	5人

イ障害支援区分

事業名/区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし	平均
施設入所支援	0人	0人	2人	15人	11人	15人	0人	4.91
短期入所	0人	0人	0人	2人	0人	2人	0人	

(3) 年間利用状況

事業名／利用項目	延べ利用日数	定員	延べ利用人数	利用率
施設入所支援	365日	45人	15,567人	94.8%
生活介護	244日	45人	9,474人	86.3%
短期入所	365日	4人	51人	3.5%

4、提供したサービス内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握・反映し、利用者の意向に沿った支援を提供した
食事の提供	利用者の状態や疾病、ニーズに合った喜ばれる食事の提供、衛生管理の徹底を図った
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能の維持と生活動作の確保、入浴・排泄・身体等の介護を提供した
創作活動	軽作業を通して利用者が目的を持って取り組む事により、集中力や持続力を高められる支援を提供
生活相談	利用者・家族の方々の生活全般の相談援助
健康管理	利用者の健康維持の為、個々の障がい程度や健康状態を把握し、バイタルチェック、定期検診、感染症予防対策に努めた
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災等の非常災害時に備え、防災マニュアルに基づき事前対策や定期防災訓練を実施した
職員の資質の向上（研修の強化）	各種研修会への積極的な参加、施設内での伝達講習会にてサービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を実施した
余暇活動（ボランティア・趣味・教養娯楽）	個々の要望に応じた余暇支援・ボランティアさんとのふれあい活動を提供した
送迎の支援	買い物支援、定期受診などの送迎支援の提供をした

5、班別活動

	項目	活動内容
「いきいき班」	作業活動	園周辺の環境整備、アルミ缶リサイクル、手工芸等の創作活動を提供した
	レクリエーション ドライブ	日帰り外出し、軽運動やレクリエーションを提供した コロナ自粛が続いているため、感染防止の対策をしながら、気分転換にドライブへ出掛けた
「さくら班」	機能訓練 生活介護訓練	身体機能、体力、生活能力の維持活動 食事・排泄・移動・整容・保清のための介護を提供した
	健康衛生管理	体温・体重・血圧測定を実施し看護師と連携して健康管理にあたった。汚物処理、感染症対策を職員間で徹底、うがい手洗いを励行した
	レクリエーション	日帰り外出し、軽運動やレクリエーションを提供した コロナ自粛が続いているため、感染防止の対策をしながら、気分転換にドライブへ出掛けた

6、主な行事

4月	お花見会（あかまつ荘利用者のみ参加） 保護者会総会⇒中止	10月	南陽会秋祭り⇒中止
5月	障がい者総合体育大会⇒中止	12月	クリスマス会・忘年会 （あかまつ荘利用者のみ参加）
7月	七夕会	1月	新年会・だんごさし・ドライブ
8月	花火大会（あかまつ荘利用者のみ参加）	2月	節分
10月	お月見会	3月	ひな祭り会

7、研修

実施月	研修内容
外部研修	
8月	福祉職員初任者研修、
9月	サービス管理責任者更新研修
12月	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）、社会福祉施設栄養士研修
内部研修	今年度は主に感染症対策について、専門家からアドバイスいただいたことを会議の場で参加者に伝達し共有した
自己啓発	講演会や研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供した

8、ボランティア活動

『ボランティア依頼』	コロナウィルス感染防止のため、ボランティアへ協力依頼はしなかった
『ボランティア活動（奉仕活動）』	コロナウィルス感染防止のため、ボランティア活動は実施しなかった

9、環境美化事業

活動時期	活動内容
4月	駐車場清掃・軒下掃除
6月	第1回保護者合同奉仕作業（窓拭き・網戸取り付け・草刈り作業）⇒中止
7月	下駄箱清掃（利用者の履物チェック）
9月～10月	職員奉仕作業（草刈り・除草剤まき・園周辺の整理）
11月	第2回保護者合同奉仕作業（網戸の取り外し・網戸貼り替え）
12月	大掃除（浴室・トイレ・洗濯場）
その他	屋外の大掃除・トイレ掃除・クモの巣駆除

10、保健衛生

(1) 利用者の健康維持推進	日々の健康状態を把握し、ご家族、病院と連携し利用者が健康で過ごせるように支援した
(2) 感染症対策	日々の体調管理・マスク着用・手指消毒・施設内消毒・行動自粛・面会制限等予防行動に努めていた 感染症情報を把握し適切な処置・対応と発生防止に努めた
(3) 安全衛生	清潔で快適な生活環境を保ち安全で快適な職場環境を整えた 職員の健康診断を行い生活習慣病の予防に努めた

保健医療機関での診察状況

診療科目	実人員/ (人)		延診察日数/ (日)		一人当たり平均診療日数	
	入院	入院外	入院	入院外	入院	入院外
内科系疾患	7	40 (救外13)	84	179	12	4.5
精神科	3	34	126	211	42	6.2
耳鼻科	0	2	0	14	0	7
皮膚科	0	9	0	18	0	2
婦人科	0	1	0	1	0	1
眼科	0	3	0	4	0	1.3
外科	5	10	56	25	11.2	2.5
歯科	0	5	0	29	0	5.8
泌尿器科	1	3	7	24	7	8
整形外科	0	8	0	40	0	5
神経内科	0	1	0	8	0	8
計	16	116	273	553	72.2	51.3

利用者及び職員の定期健康診断の実施状況

<利用者>

期日	実施人員	検査内容	検査機関
R2. 5. 13	15名	乳がん検診	保健衛生協会
R2. 8. 26	67名	胸部レントゲン	保健衛生協会
R2. 8. 26	66名	心電図	保健衛生協会
R2. 8. 26	67名	血液検査	保健衛生協会
R3. 3. 23	67名	血液検査	保健衛生協会

<職員>

期日	実施人員	検査内容	検査機関
R2. 9. 4	49名	胸部レントゲン	福島二本松病院
R2. 9. 4	49名	心電図	福島二本松病院
R2. 9. 4	49名	血液検査	福島二本松病院
R2. 9. 4	49名	尿検査	福島二本松病院
R2. 9. 4	49名	視覚・聴覚検査	福島二本松病院
R2. 9. 4	41名	便潜血検査	福島二本松病院
R2. 9. 4	41名	胃透視検査	福島二本松病院
R2. 3. 2	13名	胸部レントゲン (夜勤実施者)	保健衛生協会
R2. 3. 2	13名	血液検査 (夜勤実施者)	保健衛生協会

1 1、給食管理

① 利用者のニーズにあった、喜ばれる食事の提供。 利用者にとって、「楽しさ」「おいしさ」が感じられる食事提供に努めた。 利用者、個々の状態や疾病に適した食事の提供に努めた。			
4月	お花見会（保護者会総会）：中止	10月	秋祭り：中止
5月	子どもの日：ちまき風おこわ	11月	収穫祭：きのご御飯、芋煮汁、ふかし芋
6月	ドライブ行事（貯湯槽清掃）・誕生会	12月	誕生会、忘年会&クリスマス会（お弁当）
7月	七夕・土用丑の日	1月	お正月：こづゆ、おせち盛他・団子さし
8月	花火大会	2月	節分料理
9月	受水槽清掃：外注弁当、誕生会	3月	ひな祭り、誕生会

② 個々の咀嚼状況に合わせた食形態の提供	
食事形態	人数（R3・3/31 現在）
普通食	23名
きざみ食	6名
ミキサー食	12名
合計	41名

③ 食の安全への取り組み
利用者・職員共に衛生面に心がけ、食中毒・感染症対策に努めた <実施内容> ●関係職員の月1回の検便検査の実施（10月～3月においてはノロウイルス検査の追加） ●取引業者の自主検査の提出依頼 ●毎日の水質検査、食材検収簿の記載、調理員・配膳者の衛生、体調チェック（調理員）等

1 2、防災

【基本方針】	
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め 災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する	
【実施内容】	
<体制整備・減災のための事前対策に努めた>	
①立地条件と災害予測	施設の立地条件の把握と災害の予測について検討した
②災害時体制整備	役割分担、連絡体制を整備した
③情報整理	施設利用者情報を把握した
④基準等の策定	避難の判断、災害に応じた避難方法を検討した
⑤事前準備・安全対策	食糧等備蓄、施設の定期点検
⑥教育・訓練	職員への防災教育、防災訓練を実施した

【年間防災活動】

月	月別防災項目	実施内容
4	防火設備の点検	職員で防災マニュアルの確認・点検 スプリンクラー設置に伴う防火設備の確認
6	避難訓練（通報・避難誘導）	体制整備・減災のための事前対策の点検
7	避難訓練（通報・避難誘導）	体制整備・減災のための事前対策の点検
9	避難訓練（通報・避難誘導）	避難経路、危険箇所、防災用具の点検
11	避難訓練（通報・避難誘導）	避難経路、危険箇所、防災用具の点検
1	避難訓練（通報・避難誘導）	冬期間の避難場所・経路の環境整備
2	避難訓練（通報・避難誘導）	冬期間の避難場所・経路の環境整備
3	避難訓練（通報・避難誘導）	避難場所・経路の環境整備

13、事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止する為に、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、ヒヤリハットレポートを活用し職場内での安全対策強化を進めた
送迎車両の運転	送迎車両の利用時など利用者の移動時に対する安全配慮（車両点検・安全運転）に努めた

令和2年度 下郷作業所ホイップ 事業報告

1、事業概要

就労移行支援	就労に必要な知識や体力を身に着け、一般企業への就労と自立を目指して取り組んだ。
就労継続支援B型	自分達で作ったものを買ってもらうことで、賃金を得る喜びを感じると共に地域に暮らす一員としての役割を知ってもらい、その上で一般就労に結び付けられるような支援を目指し取り組んだ。

2、職員配置

事業所名	職 種	員 数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
下郷作業所 ホイップ	管 理 者	1	1				
	サービス管理責任者	1	1				
	事 務 員	1	1				
	管 理 栄 養 士	1	1				
	就 労 支 援 員	1	1				
	作 業 指 導 員	4			4		臨時職員
	職 業 指 導 員	3			3		臨時・パート職員
合 計		12	5		7		

(令和3年3月末現在)

3、利用者の状況 (令和3年3月末現在)

(1) 利用者数

事業名/性別	男性	女性	合計
就労移行支援 (パン班)	0人	0人	0人
就労移行支援 (農耕班)	1人	0人	1人
就労継続支援B型 (パン班)	4人	4人	8人
就労継続支援B型 (農耕班)	13人	11人	24人

(2) 障害状況

ア 障害名

事業名/種別	身 体	知 的	精 神	そ の 他
就労移行支援	0人	0人	1人	0人
就労継続支援B型	3人	21人	8人	0人

イ 障害支援区分

事業名/区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし
就労移行支援	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
就労継続支援B型	0人	3人	8人	4人	2人	1人	14人

(3) 年間利用状況

事業名/利用項目	開 所 日 数	定 員	延べ利用人数	利 用 率
就労移行支援	241日	6人	63人	4.3%
就労継続支援B型	241日	26人	4,962人	79.1%

4、提供したサービス内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	個別支援計画の作成、モニタリング、ケース会議を実施した
パン製造・販売活動	下郷物産館、道の駅(下郷・田島)、合庁、病院等への納品。 企業や役所等への販売・納品の他、月1回南郷・只見方面へも納品・販売に出掛けた。 毎月1回、お客様感謝デーとして値引きと購入金額により割引券の配布ポイントカードの作成(200円で1スタンプ、25スタンプで200円割引、10日・20日・30日はスタンプ2倍)
農作業・リサイクル活動 手工芸品の販売 委託業務	物産館へ野菜やよしずの納品。アルミ缶リサイクルの他にペットボトルリサイクルも始める。手作りマスクの店舗販売。 「株式会社おくや」より、ピーナッツの殻むき作業の委託と「荒川産業」より銅線剥離の委託作業の契約を行なった
生活相談	相談センターの協力も得ながら、個々の相談に応じる。相談という形に拘らず、作業の空いた時間や利用者の話しやすい時に話しを聞くようにした
健康管理	その日の利用者個々の状態によって、検温、血圧測定等を行ないながら対応した
緊急時・非常災害時における対応と対策(事故対策)	避難訓練の実施、自然災害等における避難経路、危険箇所の確認した
職員の資質の向上 (研修の強化)	法人研修、外部研修、取引業者が行う商品開発勉強会へ参加した 作業内容の充実を図る為、6次化プランナーの方や会津豆倶楽部の代表者との商品開発や、作物の栽培についての話し合いを行ないアドバイスを受けた
地域交流、ボランティア交流	下郷町主催のいきいきサロンや地域イベントでのパン・手工芸品販売
送迎の支援	湯野上地区、中妻地区、檜原地区、十文字地区、長野地区 田部原地区、田島地区の朝夕の送迎対応した
利用者の工賃について	日額400円×実働日数
障害者優先調達推進法に則り、物品や役務の提供	県の障がい者就労施設等物品等調達に登録し、情報提供した。関係機関のホームページにて閲覧可
一般企業への就労移行支援	ハローワーク、就労生活センターふろんていあの協力を得ながら職場実習、実習受け入れ先の開拓。

5、班別活動

	大項目	小科目	活動実績
農作業班	農業	野菜栽培 地域特産品づくり	芋類、葉菜類、玉葱、豆類、花豆、千成ほおずきの栽培
	リサイクル活動	アルミ缶のリサイクル ペットボトル	洗浄、乾燥、潰し後、昭和電工が回収 洗浄・乾燥後、ペットボトルリサイクル機へ
	創作活動	ヨシ編み 手工芸品の販売	物産館、店舗内での販売、地域でのイベントでの販売、オーダーでの販売
	委託業務	落花生栽培等	喜多方市にある製菓業者より委託を受け、落花生の栽培や殻剥きの完成品の納品。大内宿三澤屋ねぎの皮むき、納品。

パン製造班	パン製造	仕込み・分割・成型・焼成・包装・配達	<納品・販売先>下郷町物産館、下郷保育所、湯野上保育所、あかまつ荘、祇園会館、あたご作業所、合庁、南会津病院、セコニック、さくらフーズ、御蔵入り交流館 南会津役場、南会津社協、下郷町社協、道の駅(田島・下郷) ※飲食店経営許可取得
	パン販売	接客販売	
就労移行支援事業	就労学習・面接支援		履歴書の書き方や面接練習
	一般常識の習得		接客マナーや言葉遣い等
	実習・体験活動支援		援農実習
	求人活動支援		就労支援会議等への参加
	相談支援		就労定着支援

6、主な行事

4月	お花見会(会食のみ)
8月	バーベキュー
12月	クリスマス会(会食のみ)
2月	節分
2月	団子さし

7、研 修

外部研修	中堅職員研修、サビ管更新研修、感染症予防対策研修
内部研修	法人研修参加

8、ボランティア活動

『ボランティア交流』	公益的取組みによる買い物支援サービス
『ボランティア活動(奉仕活動)』	一人暮らしや高齢者、障がい者世帯を対象とした方々の買い物支援を行なった

9、環境美化事業

活動時期	活 動 内 容
4月	施設周辺のゴミ拾い等
8月	店舗、厨房内、食堂、作業室内大掃除
12月	大掃除
その他	施設周辺の除草作業

10、保健衛生

(1) 利用者の健康維持推進	手洗い・うがいの励行、利用者の体調に応じたの血圧・体温測定
(2) 感染症対策	手洗い・うがいの励行、利用者・職員の体調チェック 新型コロナウイルス感染防止のため、通所前の体温測定の徹底、利用時のマスク着用及び手洗い・うがいの励行。
(3) 安全衛生対策	手洗い・うがいの励行、厨房作業時のマスク着用
(4) 職員の医療的ケアの向上	本体、看護師からのアドバイス

1 1、食品衛生管理

【基本方針】
○食品衛生管理に細心の注意を払う ○食中毒防止のための衛生管理の徹底と事故防止対策の強化
【内容】
① 食の安全に取り組んだ 利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努めた ＜実施内容＞ 手洗い・うがい・消毒の励行、マスク着用の徹底、利用者・職員の体調確認、体調不良時の対応、衛生管理の徹底、トイレ掃除の励行

1 2、防 災

【基本方針】
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する
【 内容 】
避難訓練、消防署の立ち入り調査、職員による避難誘導の確認、避難誘導時の危険箇所の確認

【年間防災活動】

月	月 別 防 災 項 目	実 施 内 容
4	厨房内の機材点検	業者のメンテナンスチェック
5	職員の避難訓練	自然災害を含めた、地区の避難場所と避難経路の確認
6	避難訓練	非常口の確認
8	厨房内の機材点検	業者のメンテナンスチェック
9	消防署立ち入り調査	消防署員による非常ベル等の点検と確認
11	暖房器具点検	暖房器具の使用前の安全点検
3	暖房器具の点検と掃除	職員による確認と掃除

1 3、事故防止

実 施 項 目	活 動 内 容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止する為に、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を図った。
送迎バス等車両の運転	車両の点検、送迎担当職員の安全確認に努めた 送迎車両運転者講習会への参加

令和2年度 地域生活援助すみれ荘事業報告書

1、事業所概要

(1) 場 所 共同生活住居5ホーム

共同生活援助	すみれ荘	定員	5名	南会津郡下郷町大字湯野上字居平乙836-3-2
共同生活援助	たんぽぽ荘	定員	6名	南会津郡南会津町田島字田部原41-2
共同生活援助	ひまわり荘	定員	5名	南会津郡下郷町大字豊成字檜原2489
共同生活援助	いちごハウス	定員	5名	南会津郡南会津町田島字北下原31-2
共同生活援助	さくら荘	定員	3名 (現在は休止中)	南会津郡南会津町田島字北下原31-2

(2) サービス内容・定員 介護サービス包括型事業（共同生活援助事業） 定員24名

介護サービス包括型事業（共同生活援助事業）	自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況に応じて共同生活を送る居住において、入浴や排泄、食事、洗濯、掃除などの家事援助、生活に関する相談を提供した。
-----------------------	--

(令和 3年 3月末現在)

2、職員配置

事業所名	職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
すみれ荘	管 理 者	1		1			
	サービス管理責任者	1		1			
	生 活 支 援 員	2		2			
	世 話 人	4			4		非正規職員：7時間勤務
合 計		8		4	4		

(令和 3年 3月末現在)

3、利用者の状況（令和 3年 3月末現在）

(1) 利用者数

事業名／性別	男性	女性	合計
すみれ荘	3名	0名	3名
たんぽぽ荘	6名	0名	6名
ひまわり荘	5名	0名	5名
いちごハウス	0名	4名	4名
さくら荘	0名	3名	0名

(2) 障害状況

ア 障害名

事業名／種別	身体	知的	精神	その他
すみれ荘	0名	2名	1名	0名
たんぽぽ荘	1名	6名	0名	0名
ひまわり荘	0名	3名	2名	1名
いちごハウス	0名	3名	1名	0名
さくら荘	0名	0名	0名	0名

(重複障害含む)

イ 障害支援区分

事業名／区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし
すみれ荘	0名	1名	0名	0名	0名	0名	2名
たんぽぽ荘	0名	3名	0名	1名	0名	0名	2名
ひまわり荘	0名	2名	2名	0名	0名	0名	1名
いちごハウス	1名	0名	2名	0名	0名	0名	1名
さくら荘	0名	0名	1名	1名	1名	0名	0名

(3) 年間利用状況

事業名／種別	開所日数	定員	延べ利用人数	利用率
すみれ荘	366日	5名	1,342名	73.3%
たんぽぽ荘	366日	6名	2,196名	100.0%
ひまわり荘	366日	5名	1,779名	97.2%
いちごハウス	366日	5名	1,464名	80.0%
さくら荘	366日	3名	1,098名	75.0%

※さくら荘3名は9月よりあかまつ荘に入所となったことで、利用者不在となりホーム自体を休止した

4、提供したサービス内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握・反映し、利用者及び家族の意向に沿った支援を提供した。
食事の提供	利用者の状態や疾病、ニーズに合った喜ばれる食事を提供し、衛生管理の徹底を図った。
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能維持と生活動作の支援、入浴・排泄・身体等の介護を実施した。
夜間支援体制	夜間の連絡体制を確保し（あかまつ荘、サービス管理責任者専用携帯、警備会社委託）、安全な生活を提供した。
生活相談	利用者や家族の方の生活全般の相談援助を実施した。
健康管理	利用者の健康維持のため、個々の障がい程度や健康状態を把握し、バイタルチェック、定期健診、感染症予防、ホーム内の消毒に努めた。
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災・地震・水害等の非常災害時に備え、防災マニュアルの確認、変動式火災報知器を設置した。
職員の資質向上 （研修の強化）	各種研修会への積極的な参加や施設内での伝達講習会等にてサービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を計画的に実施した。支援会議やスタッフ会議の月2回の会議で諸問題に対する世話人間の共通認識を図った。
地域交流 （地域住民との連携）	地域行事や各活動に積極的に参加し、住民との交流を通して障がいへの理解が深まるよう努めた。
余暇活動	余暇時間について、有意義な過ごし方ができるよう支援した。
送迎支援	買い物支援や定期受診等において、送迎支援の提供を行った。

5、主な行事（各月予定していた行事は新型コロナウイルス感染症防止のため中止とした。）

6月～7月	ドライブ行事	12月	各ホーム内のクリスマス会
-------	--------	-----	--------------

※ドライブは南会津管内限定で、食事は弁当を購入し公園等で頂いた。

クリスマスは各ホームにてケーキを購入し、行事的な食事を提供し実施した。

6、研修

外部研修	①障がいや介護の理解や知識を得るための研修
内部研修	①各種研修会に参加した内容の伝達講習会の実施 ②月2回の会議を通して日々の支援・業務の進め方の確認及び振り返り
自己啓発	講演会や、研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供

7、ボランティア活動

『ボランティア交流』	地域行事やイベントに積極的に参加して、地域住民との交流を通して障がい者への理解が深まるよう努めた。
『ボランティア活動(奉仕活動)』	周辺の環境美化(ゴミ拾い)に努めた。

8、環境美化事業

活動時期	活動内容
4月	各ホーム内清掃、周辺清掃
9月	各ホーム内清掃、周辺清掃
12月	各ホーム内清掃、周辺清掃
その他	各ホーム内清掃・トイレ掃除は、世話人・利用者(当番制)で実施した。 各ホーム周辺の除草、網戸目隠しの設置を行った。

9、保健衛生

利用者の健康維持を推進	○日々の健康状態を把握し、ご家族と連携して利用者が健康で過ごせるように支援した。 ○ご家族、病院との連携を密にし、体調の変化に応じて速やかな対応に努めた。 ○年2回の利用者への健康診断(血液検査、胸部レントゲン検査等)を実施し、診断結果の情報を利用者へ情報提供すると共に、必要に応じて看護師や嘱託医より結果説明及び指導を受けた。
感染症対策	○流行の感染症情報を把握し、適切な処置・対応(予防接種の実施、感染症マニュアルに沿ったケア等)を実施し、各ホーム内での発生予防と消毒に努めた。 ○感染症発生時には、発生状況の把握、感染症による重症化・合併症の予防に努めた。
安全衛生の推進	○清潔で快適な生活環境を保ち、安全で快適な職場環境を整えた。 ○職員の健康診断を行い、生活習慣病の予防に努めた。
職員の医療的ケアの向上	○応急処置、感染症予防対策マニュアルを配置し、保健衛生に関する知識・技術の向上を目指した。

10、給食管理

【基本方針】
<p>○利用者個々の状態や疾病に適した食事を提供する。</p> <p>○利用者の希望に沿った喜ばれる食事を提供する。</p> <p>○食中毒防止のための衛生管理の徹底と事故防止対策の強化に努める。</p>
【内容】
<p>①楽しみのある食事を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の要望に応え、「楽しさ」「おいしさ」が感じられる食事の提供に努めた。 ・季節食や行事食を通して、季節の味覚や地元の味を感じられるように努めた。 ・利用者の誕生会では、希望食を取り入れ楽しんで食事の時間を過ごせるよう心掛けた。 <p>②一人ひとりの健康状態に合わせた食事を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりの状況に合わせた食事形態を提供し、糖尿病や高血圧の利用者にも食べやすいメニューを提供した。 <p>② 食の安全に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努めた。

11、防災

【基本方針】
<p>○災害（火災、地震、風水害等）の際に、速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行い、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する。</p>
【内容】
<ul style="list-style-type: none"> ・防災設備や連動式火災報知器の点検等は行う事ができたが、ホーム毎の避難訓練は行う事ができなかった。町内の災害情報等を常に把握できるようにした。 ・防災マニュアル及び利用者への防災知識の説明を実施した。

【年間防災活動】

月	月別訓練内容	実施内容
4月	防災マニュアルの点検・整備 防火設備の確認	職員で防災マニュアルの確認、防火設備の点検、非常口の確認
11月	消防署立ち入り調査	体制整備、避難場所・避難経路の確認、防火用具の確認

12、事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止するために、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、ひやり・はっとレポート等を活用し職場内での安全対策強化を進めた。
緊急時等における対応方法	利用者に急変が生じた場合、速やかに医療機関へ連絡を行うなどの必要な措置が講じられるよう対応した。
夜間支援体制	夜間及び深夜の時間帯に利用者に緊急の事態が生じた場合、利用者等の呼び出しに速やかに対応できるよう連絡体制（あかまつ荘、サービス管理責任者、警備会社委託）を確保するとともに、緊急時の

	連絡先や連絡方法を見やすい場所に提示した。
送迎バス等車両の運転	受診時の送迎時や買い物支援時等、利用者の移動時等に対する安全配慮（車両点検、安全運転）に努めた。

令和2年度 只見地域活動支援センターじねえんと事業報告書

1、事業概要

地域活動支援センターⅢ型	地域活動支援センター「じねえんと」は障害者総合支援法に基づいた市町村が実施する、地域生活支援事業の委託を受けて設置されたものである。地域で生活する障がい者の自立した日常生活、社会生活を実現するための相談や支援を行うとともに、生産活動や創作的活動及び地域交流活動、日常生活活動への支援を行うことで、障がい者の自立及び社会参加の促進を図る。
--------------	--

2、職員配置

事業所名	職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
只見地域活動支援センター じねえんと	所 長	1		1			(こまどり荘サビ管兼務)
	生 活 支 援 員	1	1				正規職員
	作 業 指 導 員	2	2				非正規職員
合 計		4	3	1			

(令和3年3月末現在)

3、利用者の状況 (令和3年3月末現在)

(1) 利用者数

男性(児童)	男性(成人)	女性(児童)	女性(成人)	合計
1人	15人	0人	15人	31人

(2) 障害状況

ア 障害名 (重複者含む)

身体	知的	精神	その他
3人	20人	13人	1人

イ 年齢層

0～ 5歳	6～ 12歳	13～ 18歳	19～ 30歳	31～ 50歳	51～ 65歳	65歳 以上	平均年齢
0人	1人	0人	4人	15人	7人	4人	44歳

(3) 年間利用状況

開所日数	定員	延べ利用人数	利用率
241日	20人	1,847人	38%

4、提供したサービス内容

活 動 名	活 動 内 容
軽作業	台巾作りを中心に手差し、バンダナキャップ、エコバッグ等の裁縫やアクリルたわし作りを行なった。
花壇管理委託業務	電源開発(株)より委託を受け、6月～10月までの間、月に一度の展示館周りの花壇の維持管理(草むしり、追肥等)を行なったが、今年度は展示館外壁工事のため途中で中止となった。

凍み餅の製造・販売	ユネスコエコパーク伝承産品事業に参画する。前年度の温暖化のため仕込みができず在庫がなかったため、今年度は一時中止とした。
軽スポーツ	毎朝の日課として健康体操に取り組む。天気の良い日にはウォーキングを行い、室内ではボールを使ったゲームや輪投げ等で体を動かした。
学習活動	調理実習やカラオケ、塗り絵、貼り絵、カード合わせ等を行い、個々の能力に合わせた内容を取り入れて、皆で楽しく活動を行った。
利用者交流	南会津郡内のイベントや交流行事が新型コロナウイルスの影響で中止となり交流の場を持てなかった。
地域交流	今年度は只見町の行事が新型コロナウイルスの影響で軒並み中止となり、出店の場がなかった。
就労支援	就労に関する相談や人間関係等に関する相談への支援を行った。
相談支援	来所してもらったり電話での相談受付を行ったり、みなみあいづ相談支援センターと連携して支援し、解決策を検討した。
健康管理	毎朝検温実施し新型コロナウイルス感染防止に努めた。毎週月曜日と金曜日の朝にバイタルチェックを実施した。(体重、血圧)
緊急時・非常災害時における対応と対策(事故対策)	緊急時や災害時の避難方法について、必要に応じて利用者に説明を行い、消防署より指導を受け、同建物内の只見町社協等と連携を図り、避難誘導や対応について統一性を図った。
職員の資質の向上(研修の強化)	職員の資質向上のためのチェックリストの活用や研修会等へ参加し、それを基にスタッフ会議等で話し合い、意識の共有化を図った。
送迎の支援	町外からの利用者、小中学生の放課後等利用の際の送迎を実施した。
ボランティア育成	毎月ボランティアの方との交流行事を取り入れ、障がい者に対しての理解促進と支援体制強化への協力を図った。

5、主な行事

6月	花壇管理(花植え)	9月	お月見会
12月	クリスマス会	1月	団子さし
2月	節分豆まき		

※昨年は新型コロナウイルス感染症感染防止のため、町の各種行事等が中止となり上記の施設内行事のみ実施した。

6、研修

外部研修	分野交流研修・障がい福祉研修
内部研修	法人内部研修

7、環境美化事業

活動時期	活 動 内 容
5月	駐車場掃除、エアコンフィルター掃除、ガラス磨き、くもの巣取り等を行った。
10月	花壇管理業務終了後、展示館周りの清掃やゴミ拾いを実施した。
11月	エアコンフィルター掃除、駐車場の落ち葉拾い、側溝の土砂上げ等を行った。

8、保健衛生

(1) 利用者の健康維持推進	毎週月曜日と金曜日の朝礼後、バイタルチェックとして体重、血圧測定を行い、利用者の健康管理の把握に努めた。
(2) 感染症対策	手洗いうがいの実施、登所時や外出後は手を消毒してから入ることを心がけた。

9、食品衛生管理

【活動内容】	
①調理実習	新型コロナ感染対策のため中止とした。
②ボランティア調理実習	新型コロナ感染対策のため中止とした。
③地域イベント出店	福祉の里夏まつり（8月）、只見町文化祭（11月）、朝日のいいもの集めちゃった市（3月）に出店し、五目ふかしを販売予定であったが、新型コロナの関係でイベントが中止となった。
<実施内容>	
●調理実習等で食品を扱う際は、利用者・職員・ボランティアさんに、食中毒や感染症予防のため、エプロン、マスク、三角巾、手袋の着用を徹底した。	

10、防災

【防災活動】

月	実施項目	活動内容
5月	火気器具の確認、避難時の方法説明	避難経路、器具の設置場所の確認、器具の使用状況や不具合等の確認、利用者への説明等を行った。
10月	危険箇所の確認、修繕	室内、通路、廊下等の落下物や転倒物の点検、危険箇所や破損状況を確認し、必要な部分については点検及び修繕の検討を図った。

※避難訓練等については、只見町社協と合同で立案・実施するよう検討した。

11、事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	危険箇所の把握と、修繕を必要とされる箇所については町へ協議し、修繕を依頼した。
送迎バス等車両の運転	送迎業務を行う職員に対しての安全運転と、全座席のシートベルト着用の徹底を周知した。

令和2年度 みなみあいづ障がい者相談センター報告書

1、事業概要

障がい児（者）地域療育等支援事業	【 県委託事業 】障がい児（者）のライフステージに応じた療育・相談等の体制整備、各種福祉サービスの提供の援助や調整等を行い、障がい児（者）及びその家族の福祉の向上を図った。
発達障がい地域支援マネージャー事業	【 県委託事業 】県より左記事業を受託し、発達障がいサポートコーチ業務に当たり、児童期連絡会の参加や保育・学校・事業所への訪問などを通して支援体制の相談や助言などを行い、支援体制の充実を図った
市町村相談支援事業	【 南会津郡4町村委託事業 】障がい児（者）福祉に関する様々な問題について、本人やご家族等からの相談に応じ、情報の提供や助言、その他の必要な支援を行うとともに、障がいのある方の権利擁護の助言を行った。
計画相談支援事業	【 サービス等利用計画作成 】障がい福祉サービスの利用者に対して、指定相談事業者（当事業所）がサービスを等利用計画書を作成し、サービスが計画に基づいてきちんと提供されているかモニタリングを実施した。
一般相談支援事業	【 地域移行 】施設等入所者又は精神科病院等に入院している精神障がい者に対して、住居の確保やその他の地域生活の活動に関する相談支援。 【 地域定着支援 】居住で単身生活する障がい者等の常時の連絡体制を確保。

2、職員配置

制 度	職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
みなみあいづ障がい者相談センター	管理者兼相談支援専門員	1	1				相談支援アドバイザー兼務
	相談支援アドバイザー兼相談支援専門員	1		1			
	相談支援員	1	1				
	相談支援員	1	1				
合 計		4	3	1			

(令和 3年 3月末現在)

3、実績件数の状況（令和 3年 3月末現在）

令和 2年度 障がい児(者)地域療育等支援事業 実績件数				
支援種別	電話	訪問	来所	合計 (件)
I 市町村相談支援体制整備	19	67	5	91
II 専門的な相談支援・指導	178	99	3	280
合 計 (件)	197	166	8	371
令和 2年度 発達障がい地域支援マネージャー事業 実績件数				
支援種別	電話	訪問	来所	合計 (件)
I センター・医療機関等との連携	0	0	0	0
II 事業所への支援	53	26	2	81
III 市町村等の支援体制整備	9	6	0	15
合 計 (件)	62	32	2	96

令和 2年度 市町村相談支援事業 実績件数 単位：件			
町村名	上半期	下半期	年間合計
南会津町	306	248	554
下郷町	172	215	387
只見町	135	150	285
桧枝岐村	0	6	6
合計	613	619	1,232

令和 2年度 計画・地域相談支援 実績件数 単位：件													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	15	15	20	34	32	33	13	15	30	24	20	35	286
一般相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	15	15	20	34	32	33	13	15	30	24	20	35	286

4、提供したサービス内容

	活動名	活動内容
1	地域の事業所や行政機関等との連携	多種多様な機関との連携を図りながら、専門的・個別的な相談及び助言を行い、管内の支援体制の整備に努めた。
2	計画相談作成の支援 (障がい児・者計画相談)	今年度の計画相談年間作成件数は286件の実績となった。(前年度の計画相談年間作成件数は271件)
3	地域移行・地域定着 (一般相談)の実施	地域移行・地域定着支援の作成件数0件、町村委託相談事業にて対応した。
4	自立支援協議会の活動への参加・協力	県・広域・管内町村の自立支援協議会委員として積極的に参加し提案した。また、南会津地方地域自立支援協議会では、運営会議および定例会の運営・協力を当たり、積極的に参加した。
5	県委託事業(療育・発達)の丁寧な対応	福島県7圏域の取り組みの把握と、管内の関係者会議に出席し状況確認と報告をした。町村や事業所の課題や困難ケースへの助言、新しい社会資源の推進などに、外部講師の派遣や研修会を企画したが実施はできなかった。
6	福島県基盤整備支援アドバイザー事業への支援活動依頼	管内町村や事業所の課題や新しい社会資源の立ち上げ支援などに、福島県基盤整備支援アドバイザー事業へ外部講師の派遣を依頼し助言を頂いた。
7	ペアレントプログラム事業 研修会の実施	今年で6回目となった「ペアレントプログラム研修(子育ての手法を保護者・支援者で学ぶグループプログラム)」を10月～2月で合計7回開催した。
8	南会津郡4町村委託相談事業の丁寧な対応	障がい福祉に関する各種相談や情報提供及び助言等に取り組んだ今年度の年間実績件数は1,232件となった。困難ケースの相談もあったが、職員配置の問題があり対応できない部分が多かった。(前年度の年間実績件数は、1,200件)
9	緊急時・非常災害時における	火災・地震・水害等の非常災害時に備え、防災マニュアル・下

	対応と対策（事故対策）	郷町防災マップを確認したが、避難訓練は実施できなかった。
10	職員の資質の向上 （研修の強化）	各種研修会への積極的な参加、会津圏域相談支援専門員協会勉強会、精神障がい者ワーキンググループへの定期参加や南会津相談支援連絡会を企画し、多職種による事例検討会や情報交換を実施し、地域福祉の向上を目指した。
11	個人情報の取り扱い	相談業務により知り得た個人情報を厳重に取り扱った。

5、主な活動

自立支援協議会の活動	活動内容	実施時期
運営会議・自立支援協議会全体会	事務局運営への協力と調整	6月～7月（全2回）
行政課題	構成委員として参加	7月～11月（全2回）
人材育成	活動実績なし（新型コロナウイルスの影響で中止）	
地域課題	活動実績なし（新型コロナウイルスの影響で中止）	

6、研修

外部研修	研修内容
5月	特別支援教育体制促進協議会
6月	事例検討会
7月	相談アドバイザー連携会議、事例検討会、身体障がい者相談員及び知的障がい者相談員等研修会
8月	第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の策定に関する研修会、難病患者地域支援連絡会議、下郷町自立支援協議会
9月	事例検討会、サービス管理責任者等更新研修、福島県自立支援協議会運営委員会
10月	福島県障がい者相談支援（障がい者ケアマネジメント）従事者専門コース別研修、相談支援アドバイザー連携会議、発達障がい児支援者スキルアップ事業南会津方部研修
11月	只見町地域自立支援ネットワーク会議、福島県発達障がい者支援センター連絡協議会、高次能機能障害連絡協議会、市町村知的障がい者福祉担当者等研修会、相談支援連絡会、南会津管内町村障がい福祉担当者会議
12月	成年後見制度利用のための研修会、会津・南会津圏域精神障がい者地域移行圏域ネットワーク強化研修（web会議）、西郷村巡回支援専門員整備事業第2回研修会
2月	只見町地域自立支援ネットワーク会議
内部研修	職員合同研修会、伝達講習会
自己啓発	自主的な研修会等への参加

7、ボランティア活動

『ボランティア交流』	地域住民との交流を通して障がいへの理解が深まるよう努めた。
『ボランティア活動（奉仕活動）』	地域の環境美化活動（ゴミ拾い等）に努めた。4月、9月、12月に実施。

8、環境美化事業計画

活動時期	活動内容
4月、9月、12月	事務所内・外の清掃（センター周辺、駐車場周辺の清掃及びゴミ拾い）

9、保健衛生

感染症予防研修会参加、 対策・安全衛生	マスクの着用、インフルエンザ予防接種、訪問時の手指消毒剤の使用 などを実施した
------------------------	--

10、防災

【基本方針】	
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する。	
<内容> 避難場所を確認し、防災マニュアルの検討と整備に向け取り組んだ。	

11、事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	相談事業用のひやり・はっと報告書を作成し、活用を図った。
緊急時等における対応方法	訪問時の緊急対応マニュアルについて確認した。
夜間相談支援体制	専用携帯電話2台にて夜間相談支援に対応した。
車両の運転	安全運転に心掛け、車両整備を定期的実施した。

令和2年度 こまどり荘事業報告書

1、事業所概要

(1) 場 所

共同生活援助 こまどり荘 定員 7名	福島県南会津郡只見町大字長浜字久保田 17
--------------------	-----------------------

(2) サービス内容・定員 介護サービス包括型事業（共同生活援助事業） 7名

介護サービス包括型事業（共同生活援助事業）	自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況に応じて共同生活を送る居住において、入浴や排泄、食事、洗濯、掃除などの家事援助、生活に関する相談を提供した。
-----------------------	--

2、職員配置

事業所名	職 種	員数	常 勤		非 常 勤		備 考
			専従	兼務	専従	兼務	
こまどり荘	管 理 者	1		1			サービス管理責任者兼務
	生 活 支 援 員						サビ管兼務
	世 話 人	2			2		非正規職員：7時間勤務
合 計		3		1	2		

(令和3年3月末現在)

3、利用者の状況（令和3年3月末現在）

(1) 利用者数

事業名／性別	男性	女性	合計
こまどり荘	5名	2名	7名

(2) 障害状況

ア 障害名

事業名／種別	身体	知的	精神	その他
こまどり荘	2名	4名	2名	0名

(重複障害含む)

イ 障害支援区分

事業名／区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	区分なし
こまどり荘	0名	0名	3名	3名	0名	0名	1名

(3) 年間利用状況

事業名／種別	開所日数	定員	延べ利用人数	利用率
こまどり荘	365日	7名	2,189名	85.6%
こまどり荘体験入所	365日	2名	4名	%

4、提供したサービス内容

活 動 名	活 動 内 容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握し、利用者及び家族意向に沿った支援の提供を行った。
食事の提供	利用者の状態や疾病、ニーズに合った食事を提供し、衛生管理の徹底を図った。また、誕生会や季節に応じたメニューを提供すること

	で楽しく食事ができるよう心掛けた。
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能維持と生活動作の支援、入浴・排泄・身体等の支援を実施した。
夜間支援体制	夜間の連絡体制を確保し（あかまつ荘、サービス管理責任者、関係職員、警備会社委託）、安全な生活が送れるよう配慮した。
生活相談	利用者や家族の方の生活全般の相談援助を行った。
健康管理	利用者の健康維持のため、障がい程度や健康状態を把握し、バイタルチェック、定期健診、感染症予防に努めた。新型コロナウイルスに対しては換気及び消毒を待機的に行なった。
緊急時・非常災害時における対応と対策(事故対策)	火災・地震・水害等の非常災害時に備え、防災マニュアルに基づき事前対策や定期防災訓練を実施した。
職員の資質向上 (研修の強化)	各種研修会への積極的な参加や施設内での伝達講習会等で、サービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を計画的に実施した。定期的にスタッフ会議を実施した。
地域交流	地域での行事や各活動に積極的に参加し、住民との交流を通して障がいへの理解が深まるよう努めた。
余暇活動	余暇時間について、有意義な過ごし方ができるよう支援した。
送迎支援	買い物支援や定期受診等において、送迎支援の提供を行った。

5、主な行事

※ 行事に関しては新型コロナウイルスの流行に伴い、町内や周辺地域、南陽会のイベントが軒並み中止となった事、不要不急の外出自粛のため、ほとんど実施できず。そのため、年度前半は休日に昼食を外食する等の対応を継続して行なった。また、利用者の誕生日に誕生会を実施し、各自の希望する食事を提供したり病院受診時に夕食や買い物支援を行ない気分転換を図った。

6、研修

外部研修	①障がいや介護の理解や知識を得るための研修
内部研修	①各種研修会に参加した内容の伝達講習会の実施 ②業務チェックシートを使用し、日々の支援・業務の進め方の確認及び振り返り
自己啓発	講演会や、研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供

7、ボランティア活動

『ボランティア交流』	地域行事やイベントに積極的に参加して、地域住民との交流を図ると共に、障がい者への理解を深めてもらうよう努めた。
『ボランティア活動(奉仕活動)』	周辺の環境美化(ゴミ拾い)に努めた。

8、環境美化事業

活動時期	活動内容
1 2月	冬囲い設置
3月	冬囲い外し
その他	周辺清掃、ホーム内清掃・トイレ掃除は、職員及び利用者(当番制)で実施

9、保健衛生

(1) 利用者の健康維持を推進	<ul style="list-style-type: none">○日々の健康状態を把握し、ご家族と連携し、利用者が健康で過ごせるように支援した。○ご家族、病院との連携を密にし、体調の変化に応じて、速やかな対応に努めた。○利用者の健康診断（血液検査、胸部レントゲン検査等）・受診結果を確認し、利用者本人へ情報提供すると共に、必要に応じて看護師や嘱託医より結果説明及び指導を受けた。
(2) 感染症対策	<ul style="list-style-type: none">○流行の感染症情報を把握し、適切な処置・対応（予防接種の実施、感染症マニュアルに沿ったケア等）を実施し、定時の換気及び消毒を実施し、ホーム内での発生予防に努めた。○感染症発生時には、発生状況の把握、感染症による重症化・合併症の予防に努めた。
(3) 安全衛生の推進	<ul style="list-style-type: none">○清潔で快適な生活環境を保ち、安全で快適な職場環境を整えた。職員の健康診断を行い、生活習慣病の予防に努めた。
(4) 職員の医療的ケアの向上	<ul style="list-style-type: none">○応急処置、感染症予防対策、保健衛生に関する知識・技術の向上を目指した。

10、給食管理

【基本方針】

- 利用者個々の状態や疾病に適した食事を提供する。
- 利用者の希望に沿った喜ばれる食事を提供する。
- 食中毒防止のための衛生管理の徹底と事故防止対策の強化に努める。

【内容】

- ①楽しみのある食事を提供した。
 - ・利用者の要望に応え、「楽しさ」「おいしさ」が感じられる食事の提供に努めた。
 - ・季節食や行事食を通して、季節の味覚や地元の味を感じられるように努めた。
- ②一人ひとりの健康状態に合わせた食事を提供した。
 - ・利用者一人ひとりの状況に合わせた食事形態を提供し、ソフト食等の提供に努めた。
- ③食の安全に取り組んだ。
 - ・利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努めた。

11、防災

【基本方針】

- 災害（火災、地震、風水害等）の際に、速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行い、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する。

【内容】

- ・防災無線を設置し、町内の災害情報等を常に把握できるようにした。
- ・防災マニュアル及び防火設備の点検・整備、利用者への防災知識の説明を実施した。

【年間防災活動】

月	月別訓練内容	計画
4月 10月	防災マニュアルの点検・整備 防火設備の確認 利用者への説明	職員及び消防署による防災マニュアルの確認・点検、防火設備の点検 非常口の確認、非常ベルの確認
7月 1月	避難訓練	体制整備、避難場所・避難経路の確認、 防火用具の確認

12、事故防止

実施項目	活動内容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止するために、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、ひやり・はっとレポート等を活用し職場内での安全対策強化を進めた。
緊急時等における対応方法	利用者に急変が生じた場合、速やかに医療機関へ連絡を行う等の必要な措置が講じられるよう対応した。
夜間支援体制	夜間及び深夜の時間帯に、利用者に緊急の事態が生じた場合、利用者等の呼び出しに速やかに対応できるよう、連絡体制（あかまつ荘、サービス管理責任者、警備会社委託）を確保するとともに、緊急時の連絡先や連絡方法を見やすい場所に提示した。
送迎バス等車両の運転	事業所への出退勤時や受診時の送迎時など、利用者の移動時に対する安全配慮（車両点検、安全運転）に努めた。